

調教欄の見方

「調教タイムを見る」ことは、馬の体調を判断する重要な要素の一つです。「追い切り」とは、レースに臨む馬の状態を最高にもっていくため、開催に備えて十分に追い切る直前の調教で、そのとき計時したタイムを「追い切りタイム」と言い、最終調教（レース前日）で微調整が行われます。「ハロン」とは、1F、2Fと表記しますが、1F=200メートルで、1哩（マイル）は8F（1600メートル）です。

調教タイムは、ゴールからの逆算で、一般の陸上競技等のラップタイムの表示とは異なります。

ゴール前から逆算した距離を表します。調教コースにはタイム測定の為、コースの内側に1ハロン毎に目安のハロン棒を立ててあります。

6 F 5 F 半哩 3 F 1 F ←

⑫ アドマイヤムーン〔脚いろ見劣る〕 (→)

07.2[△]、DW良 796.6 79.8 65.1 52.1 39.4 12.7 ⑨一杯に追う
 助手 ⑧ DW良 ⑧ 120.0 81.0 66.4 52.3 38.5 11.6 ⑨一杯追伸る
 助手 6 DW箱 91.1 74.6 58.8 42.8 12.0 ⑨馬なり余力
 助手 11 DW良 85.1 68.7 53.2 39.7 12.0 ⑨強目余力
 アドマイヤキッス(古オカ)一杯の内先行4F付0.2秒先着
 助手 14 栗坂良 1回 58.2 42.7 27.6 13.7 馬なり余力
 助手 17 DW良 86.1 70.5 55.2 40.6 12.1 ⑨叩き一杯
 助手 20 DW重 91.1 74.4 58.6 42.7 12.3 ⑨馬なり余力
 助手 24 DW良 87.0 70.3 55.6 41.2 12.1 ⑨叩き末一杯
 タガノレイヤード(古500斤)馬なりの外追走3F併[△]遅れ

● 調教助手が騎乗し、17日栗東Dウッドコース良馬場で6ハロンから追い6F86.1秒、5F70.5秒、半哩(4F)55.2秒、3Fを40.6秒、最後の1Fは12.1秒を計時したものです。

〔調教には、馬の所属厩舎の調教師が自ら乗る事や騎手、見習い騎手が乗る事もあり、それぞれ 調師 騎手名 見習と表します。〕

● 併走相手(条件・脚色)と併走開始点及び着差を表します。調教の時、(併せ馬<アワセウマ)といて2頭以上の馬で並んで走ることがあります。併せ馬は一般的に言って、馬の闘争本能をかきたてることから、単走よりタイムも速くなる傾向があります。

併(せ)と付(け)……併走相手を追走した場合は併(せ)、先行していた場合は付(け)と表記します。

坂路調教で1行表示の場合、馬場状態も表示しています。

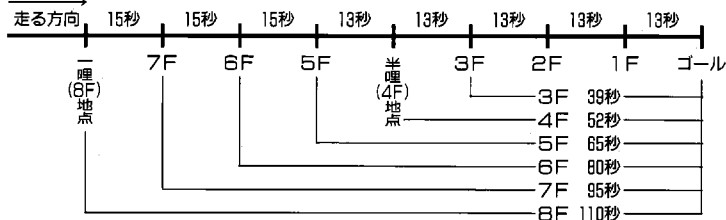
① メイショウサムソン〔仕上がり良好〕 (→)

07.4[△]、DW良 76.5 62.6 50.1 37.6 12.1 ⑨一杯に追う
 石守 ⑧ 栗坂良 2回 53.1 38.5 24.7 12.0 馬なり余力
 * 5栗坂2回 59.6 44.5 15.1なり 12栗坂2回 58.7 43.3 14.4なり
 * 9栗坂2回 60.7 44.7 15.0なり 16栗坂2回 59.8 44.2 14.7なり
 20栗坂2回 54.6 39.6 12.9なり 23栗坂2回 61.6 45.6 15.6なり
 26栗坂2回 53.7 39.0 12.6なり 30栗坂2回 57.2 42.0 14.3なり
 3栗坂2回 51.9 37.9 12.4一杯 11栗坂2回 51.0 37.4 12.8強目
 武豊 17 DW良 79.4 64.5 51.1 38.3 12.1 ⑨一杯に追う
 メイショウディオ(古1600斤)一杯の外追走1秒先着

● 坂路調教を表します。

26日栗東の坂路で2回乗られ、その時計は半哩(800メートル)53.7秒、3F(600メートル)39.0秒、1F(200メートル)12.6秒を計時し、脚いろは馬なりであった事を示します。

追い切りタイムの目安はダートコースの場合8F(1哩)なら110秒と考えるといいでしょう。下図の様に最初の3F(600メートル)を15秒平均、ゴールまでの5F(1000メートル)を13秒平均という訳です。



馬の状態がよい時は強目でこれ位のタイムをマークし、仕上がりに途上の時は一杯に追っても、これよりおそくなるのが一般的な傾向です。

馬名の前の番号⑫は当該レースの馬番号です。馬名の横の短評は「追い切り」時の動きの状態です。矢印は「前走時に比べて」馬の状態の変化度合を表します。(↑)一変、(ノ)良化、(→)平行線、(△)下降気味、(↓)下降。

△とは、今回の追い切りと同一コースで該当馬が過去(西暦、月で表示)にマークした最も速い(栗東は6ハロン、美浦は5ハロン。坂路は栗東・美浦ともに4ハロン計測)タイムです。

■のタイムは、一番最近の連対時の追い切りタイム。

◇のタイムは、前走時の追い切りタイムを表し、前走連対の場合は■が前走追い切りタイムとなります。

通過位置を表します。

コースを内側の柵(内ラチ)から見て9分割して考え、どの辺りを回って来たかという事です。内ラチに沿って回って来れば①、外ラチ沿いと⑨、真ん中辺りなら⑤との表記になります。数字が大きい程、外を回った事になりハロン表示の距離よりも走った実距離は長くなります。

(次々頁、下の表を参照)

● 脚色を追っている状態と脚色の2通りにて表示します。調教タイムを出した時に騎乗者が、直線強目で追って最後余力があった事を表す。

主な脚色表記用語 馬なり余力(なり) 一杯に追う(一杯) 末一杯追う(末一) 稍一杯追う(稍一) 叩一杯バテ(叩一) 末強目追う(末強) 末抑える(抑え) 一杯追バテ(バテ) 引掛り気味(掛る) (カッコ内は坂路での表記)

*の表記

吉隼◇南D良	82.1	66.1	51.5	38.2	11.9	⑨G前仕掛け
石神16南D重	67.4	52.3	38.4	12.4	⑨馬なり余力	
*石神30南D良	67.4	52.6	38.7	12.3	⑨馬なり余力	

調教タイム欄の*とは…一定タイムに達する調教タイムが中間で10日間以上計時されていない時は、追い日の前に*印で表示します。

ゲートの表記

ゲート(練習)中の計時と脚色を表示しています。

和竜◇栗E良	⑧ 111.5	82.5	67.9	53.6	40.0	12.3	⑨ゲート強目	
助手19栗E不					12.5	11.9	13.0	ゲート強目

ゲート(練習)のみの1ハロン毎のタイム計時。

調教欄のケイ線の表記

吉隼◇南D良	82.1	66.1	51.5	38.2	11.9	⑨G前仕掛け	枠順取消前後の追い切り時計を区別しています。
石神16南D重	67.4	52.3	38.4	12.4	⑨馬なり余力		
*石神30南D良	67.4	52.6	38.7	12.3	⑨馬なり余力		

【プールと坂路について】

トレーニングセンターには、トレーニングコースの他に、坂路（はんろ）とプールの施設があり、併用してより効果的なトレーニングがなされています。

競走馬スイミングプール 主に、脚部に負担をかけず、心肺を鍛えることを目的として使用されています。

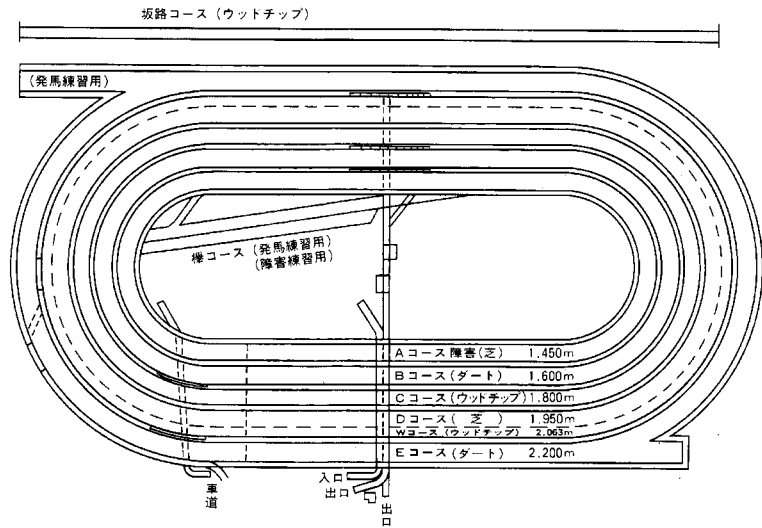
	馴致用プール		直線プール		円形プール	
	栗	東美浦	栗	東美浦	栗	東美浦
延長	A ^{12.0m} B ^{15.0m}	10.2m	32.5m	39.3m	1周 50.0m	50.0m
幅員	1.0m	1.0m	2.0m	2.0m	3.0m	3.0m
水深	1.0m	0.5m	3.0m	3.0m	3.0m	2.8m

栗プール	6月 3日			
栗プール	4日 2周	5日 4周	6日 4周	7日 4周
栗プール	8日 4周	10日 4周	11日 4周	12日 4周
栗プール	13日 4周	14日 4周	15日 4周	17日 4周
栗プール	18日 4周	19日 4周	20日 4周	21日 4周
栗プール	24日 4周	26日 4周	27日 4周	28日 4周

栗東プール24日4周は、6月24日に円形プールを4周泳がせたことを示します。

栗東トレーニングセンターコース図

美浦北・南も形状は同様です。

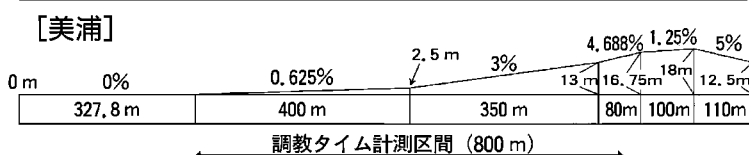
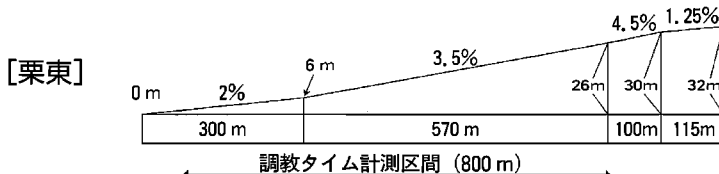


	コース名	幅員	蹄跡距離 [1]の表示	中央を回	大外を回
				った距離 [5]の表示	った距離 [9]の表示
栗東	Aコース (障・芝)	20m	1,450m	1,507m	1,563m
	Bコース (ダート)	20m	1,600m	1,657m	1,713m
	C・Wコース (ウッド)	20m	1,800m	1,857m	1,913m
	Dコース (芝)	18m	1,950m	2,000m	2,056m
	D・Wコース (ウッド)	10m	2,063m	2,088m	2,113m
美浦南	Eコース (ダート)	30m	2,200m	2,288m	2,376m
	Aコース (ダート)	25m	1,370m	1,441m	1,513m
	Wコース (ウッド)	20m	1,600m	1,657m	1,713m
	Cコース (芝)	10m	1,800m		
美浦北	C・Pコース (ポリトラック)	15m	1,858m		
	Dコース (ダート)	30m	2,000m	2,088m	2,176m
	Aコース (障芝・ダ)	25m	1,370m	1,441m	1,513m
	Bコース (ダート)	20m	1,600m	1,657m	1,713m
	Cコース (ダート)	20m	1,800m	1,857m	1,913m

※蹄跡距離は内ラチから1mを回った距離。
※美浦南のCコースおよびC・Pコースは改修後、幅員と蹄跡距離以外は未発表です。

坂路(はんろ)馬場

ウッドチップを敷き詰められている。走行時に受ける衝撃が、一般の練習馬場(ダートコース)に比べて極めて小さいため、爪や、脚部に不安のある馬も十分なトレーニングが可能。坂の下りは歩かすので、乱れた呼吸を整えられ、理想的なインターバルトレーニング法を行えるものと考えられています。



ウッドコース構造断面図

[栗東CW]

バーク	5cm
ウッドチップ	20cm
単粒碎石	25cm
路床	

[栗東DW]

ウッドチップ	25cm
4号碎石	25cm
路床	

[美浦・南]

ウッドチップ+バーク	10cm
ウッドチップ	15cm
単粒碎石	25cm
路床	

バーク= 樹皮
ウッドチップ= 木片 (坂路と同じ材木)